

韓国児童と心のふれあい

アンニョンハセヨ(こんにちは)集会

鳴浜小学校の姉妹校、韓国の半月初等学校との交流集会が、6月9日、鳴浜小学校体育館で開催されました。今年は、半月初等学校の児童7人と李校長や訪問団12人の皆さんが来日しました。集会は、鳴浜小学校の全校児童による合唱「ソヌルチャバヨ」(手をつなごう)や学年ごとの歌や踊りを披露。半月初等学校の児童からは、韓国民謡やリコーダー演奏の発表がありました。また、地元の白幡神社伝統文化保存会の神楽舞、鳴空会の空手演舞が披露され、日本の伝統文化にも触れることができました。李校長は、「19年間友情を深めてきましたが、これからも情報交換し、交流をさらに深めていきたい」と話していました。



小学校3・4年生の発表は、演技を交えて体全体を使いながら歌を披露

「8020」80歳で歯が20本

よい歯のコンクール



ちょっとお口の中を見せてね

よい歯のコンクールは、5月13日に松尾IT保健福祉センターで開催しました。このコンクールは、だれもが生涯にわたって自分の歯で食べられるよう、歯科疾患予防の正しい知識を普及啓発することを目的として毎年実施しています。対象者は、3歳児歯科健診を受診した幼児とその親(親子の部門)と80歳以上で自分の歯が20本以上ある人(高齢者部門)です。審査員の町山先生は、「今回参加の高齢者は、歯肉も元気に引き締まっていて、よく噛める。そうすると、内臓も健康になる。皆さん、ぜひ目標にしてください」と話します。

各部門の代表者は6月4日に山武郡市歯科医師会が開催した審査会に参加し、高齢者の部代表の高尾さんが1位となり、県のコンクールへ選出されました。

【高齢者の部】

高尾 貞美さん (81歳) (成東)

若いころから歯の健康に心がけています。今は、半年に一回、定期的に歯科医で見てもらっています。歯が健康だからなのか、体は丈夫で、病院にはかかっていません。



【親と子の部】

永山 貴之さん (33歳)
ひかりちゃん (4歳) (木原)

娘の仕上げ磨きは朝と夜に母親がしています。でも、甘い物が大好きで、お菓子はジュースも飲みます。わたしは、高齢者と関わる仕事をしているので、人に言う分、自分も日ごろから一日3回毎食後歯を磨き、気をつけています。

